

平和学習  
in 東京

# 靖国神社・江戸東京博物館に行こう！

- ◇日時 **11月23日** (水・祝) 7時～19時
- ◇目的地 靖国神社・遊就館  
江戸東京博物館 (東京大空襲)
- ◇集合 **7時** 静岡駅南口駿河銀行前
- ◇参加費 **6,000円** (バス代・入場料含)
- ※申込みは11月15日までに、  
静岡市平和委員会まで  
電話 253-1854

久しぶりの平和フィールドワークです。要望が多かった靖国神社と、東京大空襲の展示がある江戸東京博物館を組み合わせってみました。

政府は戦争法を発動させ、いま内戦状態の南スーダンへ駆けつけ警護ができる部隊を送ろうとしています。

新たな戦死者を出さないためにも靖国神社の本質を見抜く学習をしませんか。



No.18  
2016年10月25日  
発行  
静岡市  
平和委員会  
静岡市葵区鷹匠  
1-5-8  
TEL 253-1854  
FAX 252-0785  
メール  
Peace-Ci ty  
@mail.707.to

日本平和大会in三沢  
静岡市代表として  
参加して  
鈴木文也

米軍三沢基地は、日本防衛どころか、アメリカの世界規模での軍事戦略

は、B61-12新型核弾頭

は、B61-12新型核弾頭

三沢基地に配備されているF-16戦闘機は核攻撃のできる戦闘機。今後配備が予定されているF-35ステルス戦闘機

この平和大会に参加して米軍三沢基地の実態が少しでも理解できた事は自分としても良かった事です。

力の世界戦略の基地として使われています。

極東最大の情報基地となつていきます。

を支援する海外出撃拠点として、朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク戦争とアメリカの世界戦略の基地として使われています。また基地内の姉沼通信所地区には、「セキユリティー・ヒル」通称「ピンポン玉」と呼ばれる電波通信施設があり、



## 徴兵を忌避して自死した教師

徴兵による入隊を前にして自死した教師が静岡市にいた、ということを最近知った。寺尾絢彦さんが兄の死を冊子にまとめた。兄薫治さんは、1923年静岡市生まれ、県立静岡商業学校から市立横浜商業専門学校(現横浜市立大学)に進んだ。43年2月には休学して地元に戻り、静岡市立安東国民学校(今の安東小学校)の教師になった。

薫治さんは、絵や音楽が好きで、蔵書にはフランス語の本やロシアの演劇の本などがあったという。詩を書いたり、童話を作ったりもしたそうだ。「こんな戦争勝てるわけがない」が口癖で、特高に引っぱられたことも。僅か8ヶ月に満たない教員生活だったが、当時4年生の教え子が薫治先生の思い出を生き生きと語っているのに驚かされる。

一生徒の前で、自分のことを『かある(薫)、かある、若葉がかある』と歌で紹介しました。天気の良い日は「今日いい天気だ。皆で写生に行こう」みんな大喜び。私たちと同年の先生の妹さんが羨ましかった。『僕は、あの軍隊の行進のザックザックという音が大嫌い。耳を塞ぎたくなる』とは、先生からよく聞かされた言葉です。—

薫治さんは、昭和19年11月、入隊を前にして服毒し自らの命を絶った。自分と軍隊は相容れないと、覚悟を決めていたのかもしれない。(合戸 政治)

## 原水禁大会、久保山さん追悼集会に参加して 黒田 久予

今年八月に広島の原水禁大会、九月に焼津の久保山さん追悼集会に参加することができました。ここ数年所用で参加することができず、久しぶりの参加だったので核問題について改めて考えさせられました。

「核兵器の問題を安全保障の問題ではなく、人道の観点からとらえる」「核兵器が安全保障に有効であるなら、どうして他国のもれを持つとする権利が否定されるのか」という指摘には、何かすっきりした感じがしました。米の大統領が広島を訪問した等、核兵器の「先制使用」の見直し発言をした事等、世論の変化が後押ししている事も良くなりました。被爆国日本の首相がこの発言に反対するのは怒りを禁じえません。「国際的には核兵器禁止条約交渉開始が現実の日程に上ろうとしている今、日本の運動に責任がある」私たちの運動の重みを感じました。ヒバクシャ国際署名を、広く垣根を越え、協力共同で、核兵器廃絶運動をすすめてはなりません。一人一人の力は小さいけれど、たくさんの人達とつながる事が大事です。広島でも焼津でも高齢者のがんばりに脱帽でした。この思いを次世代にバトンタッチしなければと思っています。



# 大戦で多くの友を失う記

## 加藤明

小学四年になって間のない、昭和二十年五月十九日の授業中、空襲警報が発令し全校生徒が運動場に集まり、各分団（今で言う町別）に整列し下校の準備をしました。戦争中は、男女別に分かれ、各分団ごとに下校の合図を待っていた。

先に男子が集団下校をし、後に女子が続いた。当時は、兄弟姉妹でも男女共々一緒に下校できなかつた。下校途中、突然大きな音がし突風が吹き、一面砂かぶりの道で前が見えない風景でした。帰宅し、母がいる防空壕に入って静かになった時、母の顔が見えたので一安心しました。「ほらへへへお母ちゃん」と言いながら妹も帰って来たので、一家安全に帰宅して良かったと喜び合いました。茶の間で家族が話し合っていたとき、隣組の組長さんが「学校の近くに爆弾が落ちたらしいぞ」と言っていた。母と妹と三人で学校に行く、近くの竹藪の中に大きな穴が開いていて、在郷軍人さんや近くの人達で、亡くなった人達を始末していた。私たちが

することに反発しきれなかつた。友人の慰霊祭さえも数年が過ぎてからでした。中には「今さら何を言っているのか」という遺族もあつたようです。

亡くなった二十八名の友人は全員男子です。その夜、親しかった友の家を叩きました。なんとなく重苦しい雰囲気だけ覚えています。次の日、学校に行くことになった友人の様子や怪我をした時のことを話し合いました。

犠牲者の中には、四人も同級生が含まれていました。中には兄と弟二人もいました。当時は親と兄も戦死した遺族も多く、寂しいお葬式だったと思います。

「お国のため」だの「天皇陛下のため」と日常洗脳された私たちの心も人の意義も感じなかつたのです。それどころか戦争で亡くなった人達を同情しようものなら「あいつはアカだ」とか「国賊」といった風潮が流れていた軍国主義の時代です。戦争を美化すること以外は全て否定

### 昭和20年5月19日 見付国民学校の空襲に依る死亡者

職員死亡者	訓導	田中小苗
児童死亡者		
初等科一年	寺田悦弘	金子正弘
	市川 晃	久野正志
初等科二年	松井秀雄	戸塚章司
	島田日吉	鈴木元司
初等科三年	伊藤 忠	鈴木 広
	平田八十吉	鷺坂博司
	大庭勝次	大橋時次
	青島 弘	鈴木文男
初等科四年	鈴木宗市	岡部清治
	大庭勝次	西郷宗一
	袴田憲司	島田次郎
初等科五年	松浦 強	大場承治
	鈴木 進	稲垣道夫
高等科一年	松井利雄	

『静岡市中』史料編より

### 戦争法成立とそのあと 次の希望につながる事 -マッちゃん-

憲法違反の安保法（戦争法）が強行採決されて、1年が経ちました。全国各地で廃止を求める運動が続き、静岡県内でも各地域で続けられています。先の参議院選挙で静岡選挙区では、自民党と民進党の候補者が当選しました。共産党の候補者は善戦をしましたが、当選とはなりませんでした。僕はこつした結果にがっかりしました。

同居の甥に安保法の話をしました。中国、北朝鮮の脅威があるから戦争法も必要と彼は言います。中国が経済文化などのつながりで、日本に攻めてこないことを説明し、そのことは、彼も理解しました。しかし、現に領土問題で日本と敵対している。そのために安保法が必要だと言つ。攻めて来たときは、個別的自衛権で対処できるし、その前に平和的な解決できないと反論しましたが、甥は納得しませんでした。



上智大学の中野先生は、今回